

たまかわ

2002

8

No.432

空と緑`新、呼吸する——**広報TAMAKAWA**

(玉川村ホームページ) <http://www.tamakawa.net6.or.jp>



ミニバスケットボール優勝の山小屋チーム

第31回玉川村少年球技大会
優勝おめでとう



ソフトボール優勝の川辺チーム



この用紙は、再生紙を使用しています(古紙配合率100%)

古紙100%再生紙

考えしてみよう

市町村合併

効果と問題点

市町村合併をした場合、それぞれの立場によって異なりますが、主に期待される効果(○)と懸念される問題点(×)を挙げてみたいと思います。

旧市町村の境界がなくなるので

○合併前の各市町村がそれぞれの場所に建てた図書館、スポーツ施設、保健福祉施設などをすべて同じ条件で使えます。

○住所と勤務地が同じ市町村に含まれることによって、勤務地の近くでもいろいろな施設を使えるようになったり、窓口サービスを受けられるようになります。

○以前の境界を越えて小中学校校区が作られるようになり、より近い学校に通える人もできます。

○使用人口が増えることにより、施設等の使用が不能となる可能性もあります。

いくつかの市町村が一緒になるので

○職員間の切磋琢磨により能力の向上が図られて、住民の皆さんにとって頼りになる存在になります。これからの地方分権の時代に、国や県にたよることなく、住民に身近なことは市町村で決めて実行できるようになります。

○合併で規模が大きくなれば専門職を雇うことができ、住民の皆さんに高度なサービスを提供できます。

○重複する行政の内部管理部門等のスリム化が図られ、人件費の削減ができます。

○水道料金・使用料金等の格差及び財政規模の違いによる調整で不利にならないか疑問

が残ります。

×広域的な人事となり周辺の地域を理解する職員がいなくなる、或いは事務的に処理されてしまう事が考えられます。

×人口の集中する場所に役所が移り、周辺地域は遠くなる事があります。

より大きな市町村が誕生するので

○効果的な施設の整備と効率的な事務事業の運営が行えます。

○地域のイメージアップや合併後の基盤整備によって、企業立地、若者の定着やイベント誘致が進み地域が活性化します。

×広範囲にわたる維持管理と地域特性に合ったサービスができるかが疑問視されます。

×自分たちの意見が議会議員から行政に届いたが、合併で大きくなると、意見が届きにくくならないのか不安が残ります。

財政面

財政面では、次のような措置がとられています。

普通交付税による措置

○合併後十カ年度は今の普通交付税措置を全額保障、さらに五カ年度は激変緩和措置を行います。

○合併後における行政の一本化(基本構想等の策定、改定、ネットワークの整備等)に要する経費等に対する措置を行います。

特別交付税による措置(三年間程度)

○合併を機に行われる新しいまちづくり、合併関係市町村間の公共料金格差調整、公債

費負担格差の是正や土地開発公社の経営健全化等についての需要に的確に対応するための措置を行います。

○合併協議会設置経費等に対する措置をします。

○合併関係市町村が合併市町村の一体性の速やかな確立を図るため、合併前に要する経費に対する措置をします。

合併特例債による措置

○合併後十カ年度は市町村建設計画に基づく特に必要な事業の経費に合併特例債を充当(九十五%)元利償還金の七十%を普通交付税で措置します。

○旧市町村単位の地域振興・住民の一体感醸成のために行う基金造成に対し特例地方債を充当(九十五%)元利償還金の七十%を普通交付税で措置します。

×借金の上乘せにならないのが考えられます。

国費による補助

○市町村建設計画の作成及びそのための準備等に要する経費を措置、一団体につき一律

五百万円を配分します。

○合併に伴い必要な事業として市町村建設計画に位置付けられた経費につき、合併関係市町村の人口規模に応じて措置します。

これら以外にも利点や問題点がありますが、「合併協議会」において色々な問題の対応について「市町村建設計画」に盛り込むことが出来ます。明治・昭和の合併は強制的に行われましたが、今回は地域住民と市町村に判断が委ねられています。

今回は、合併の方法等について紹介します。

中体連県大会

第45回福島県中学校体育大会で、女子柔道個人の70kg超級で佐藤愛子さん(泉中)が3位に輝きました。

また、陸上競技の共通男子800m走で齋藤久矢君(泉中)が7位に入賞しました。

国勢調査で見る玉川村 第5回

【石川管内の人口・世帯数の推移】

今月号では石川管内における人口・世帯数について、平成2年及び平成7年国勢調査の結果と比較しながら、お知らせいたします。

調査結果を比較すると、平成7年調査では前回調査に比べ、石川管内全町村において人口が減少していますが、世帯数は古殿町を除き増加しています。

また、平成12年調査においては、人口・世帯数ともに減少している町村が出てきていますが、唯一本村だけは人口・世帯数とも増加しています。

町村名	区分	平成2年	平成7年	前回調査増減率	平成12年	前回調査増減率
玉川村	人口	7,631	7,593	△0.50	7,680	1.15
	世帯数	1,667	1,700	1.98	1,806	6.24
石川町	人口	21,534	21,026	△2.36	19,914	△5.29
	世帯数	5,330	5,458	2.40	5,411	△0.86
平田村	人口	8,523	8,322	△2.36	7,910	△4.95
	世帯数	1,882	1,997	6.11	1,999	0.10
浅川町	人口	7,727	7,625	△1.32	7,484	△1.85
	世帯数	1,892	1,981	4.70	2,029	2.42
古殿町	人口	7,617	7,348	△3.53	6,818	△7.21
	世帯数	1,807	1,790	△0.94	1,725	△3.63

※ 世帯数には施設等の世帯も含まれます。

南国沖縄の自然・歴史と文化を学ぶ

中学生国内研修 中学2年生81名が参加

琉球の都沖縄の自然を満喫

今年度の中学生国内研修事業（沖縄研修）は七月二十九日から三十一日の二泊三日の日程で、車田教育長を団長に、泉・須釜両中学校の二年生八十一名が参加して行われ、参加した生徒達は、南国沖縄の青い海と歴史・文化にふれる貴重な体験をしました。

研修団一行は、午前七時三十分から福島空港で結団式を行い、南の空へ飛び立ちました。



ふくしまの塔に献花をしました



那覇航空整備工場にて

研修初日は、那覇航空整備工場を見学したあと、魔文仁ヶ丘やひめゆりの塔を訪れ、美しい沖縄の歴史を学びました。

二日目は糸数壕（防空壕あちち）、首里城公園を見学したあと、フェリーで渡嘉敷島に渡り、海洋体験学習でカヌーやスパーフロート体験し、珊瑚礁の青い海、沖縄の自然を満喫しました。

三日目は沖縄本島にもどり、琉球ガラス村で自分のオリジナルのコップ制作を体験し、帰途につきました。

（九月号に続く）



糸数壕にて



琉球ガラス館にて

青くきれいな沖縄の海を存分に楽しみました

玉川村農業委員会

新委員十八名が決定

七月十九日で任期満了となった玉川村農業委員会委員が決定しました。

先の農業委員会委員一般選挙による当選者十三名と選任委員五名（JAあぶくま石川から一名、いわせ石川地方農業共済組合から一名、玉川村議会が推薦する学識経験者三名）の合計十八名です。

七月二十三日午後二時から選任委員に対する選任書の交付式が行われ、引き続き午後三時から新委員による最初の農業委員会が開催されました。

委員会では、議席番号の決定や会長及び職務代理者の選出を行い、玉川村農業委員会の体制が決まりました。

会長に圓谷房夫氏を選出

委員会では、会長に圓谷房夫氏を、また、職務代理者に瀬谷武義氏と岩谷利秋氏を互選により選出しました。

なお、新委員は次のとおりです。



圓谷房夫(65) (再・南須釜)



岩谷利秋(54) (再・小高)



瀬谷武義(61) (再・北須釜)



小針幸吉(53) (再・中)



三瓶力(54) (新・川辺)



須藤重次郎(55) (再・小高)



有賀秀夫(59) (再・吉)



須藤竹一(50) (新・川辺)



佐藤一男(54) (学識経験者)



橋本義晴(53) (再・竜崎)



矢吹金一(55) (新・北須釜)



渡辺利秋(51) (新・四辻新田)



小原明昭(65) (再・南須釜)



森清重(67) (学識経験者)



小針武(57) (学識経験者)



小林茂夫(54) (あぶくま石川農業協同組合)



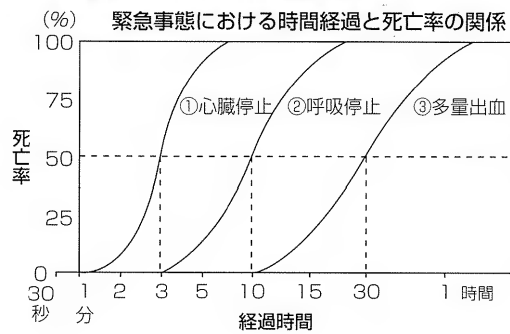
佐久間安直(59) (いわせ石川地方農業共済組合)



佐久間勝(57) (新・岩法寺)

9月9日は「救急の日」

カーラーの救命曲線



- ① 心臓停止後約3分で50%死亡
- ② 呼吸停止後約10分で50%死亡
- ③ 多量出血後約30分で50%死亡

心臓が止まってから、または呼吸が止まってから、何分くらい経つと命が助からないかがこの曲線で示されています。

救急車が到着するまで全国平均で約6分かかります。もし、こんな時救急車が到着するまで手をこまねいて見ていたら、命を救うことが出来ないことがこの図からわかると思います。バイスタンダー(現場に居合わせた人)の応急手当が命を救うことが出来るのです。

- 携帯電話での119番通報について
携帯電話で119番通報をすると、当管内(須賀川市、岩瀬郡、石川郡)では、最初に郡山消防本部へつながります。その後、須賀川消防本部通信指令係へと転送されるシステムとなっているため、まずは場所をはっきりと教えてください。
- 救急車の適正利用について
救急業務とは、傷病者の生命及び身体を守るためのもので、住民が等しく利用することが出来る公共の業務です。しかし、公共性があるとはいえ救急車の数には限りがあります。緊急に治療を受ける必要がある傷病者が対象であることを理解し、良識ある利用をお願いします。

第31回玉川村少年球技大会

暑い夏の熱い戦い



開会式の様子

ソフトボール・ミニバスケットボールに熱戦を展開

玉川村青少年育成村民会議主催の第三十一回玉川村少年球技大会は、八月三日(土)に須釜小学校校庭をメイン会場に開催されました。ソフトボールに十一チーム、ミニバスケットボールに八チームが参加して、炎天下の下熱い戦いを繰り広げました。子供たちは、この日のために毎日練習を積んできており、練習の成果を発揮する舞台でのびのびと元気あふれるプレーを披露し、応援に駆けつけた保護者の方々は大きな声援と盛んな拍手をおくっていました。大会の結果は次のとおりです。

- ソフトボール
優勝 川 辺
準優勝 小 高
三位 南須釜
三位 岩法寺
- ミニバスケットボール
優勝 山小屋
準優勝 川 辺
三位 南須釜
三位 北須釜



声援をおくる保護者らの皆さん



前年度の優勝旗を携えての入場行進

水害で農作物等に大きな被害

七月十一日、台風六号の影響で、竜崎・中地区などで農地やハウスが冠水したほか、道路などの土木施設に大きな被害が出ました。

- 農作物被害
被害面積 2.2 ha
概算被害額 990万円
- 公共土木施設被害
道路9箇所 河川1箇所
概算被害額 3060万円



冠水したハウスや農地(竜崎地内)

第3回 心の健康相談会のお知らせ

- 日時 平成14年9月4日(水) 午後1時～午後4時
- 場所 玉川村保健センター
- 相談員 針生ヶ丘病院 臨床心理士 本間 真先生
- 相談内容 日ごろ抱えている心の悩み全般
- 申込先 玉川村保健センター (☎37-1024)

「C型肝炎について」の健康講演会を開催

- 日時 平成14年9月6日(金) 午後2時～午後3時30分(受付午後1時～)
- 場所 玉川村就業改善センター
- 講師 福島医大 大平 弘正 先生

応募要領

- 応募規定 ①満3歳までのお子さんを、6ヶ月以内に撮影した写真(家族の方が撮影したものに限り)
- ②村内に居住している方
- ③写真の大きさはL判サイズ
- ④お一人3点まで応募できます(写真の返却は致しません)
- 応募受付 平成14年9月2日(月)～9月30日(月)

特典

- 最優秀 (1点)
- 優秀 (3点)
- 佳作 (8点)
- 入賞作品は平成15年度健康カレンダーに掲載します。
- ◆お問い合わせ先…玉川村保健センター ☎37-1024

「赤ちゃん写真コンテスト」写真募集

- 応募先 玉川村保健センター及び須釜支所



車田村長から矢吹昭人君に賞状が贈られました

矢吹昭人君インターハイ(ハンドボール)に出場 国体の県選抜にも選ばれる

8月1日から茨城県で開催されるインターハイのハンドボール選手権大会に、学法石川高校ハンドボール部の矢吹昭人君(吉)が出場することになり、役場を訪れ車田村長に出場を報告しました。
車田村長は、「日頃の練習の成果を存分に発揮し、がんばっててください」と話し、村から激励金を贈りました。また、矢吹君は、国体予選の県選抜(14人)にも選ばれ、今後の活躍が期待されます。

県野球連盟と福島民報社主催の第25回県少年野球選手権石川・須賀川・岩瀬地区予選が石川町民野球場等で開催され、泉中Aが準決勝と決勝をコールドゲームで勝利する圧倒的な強さで見事に優勝を飾り、8月10日から開催される県大会への出場を決めました。

- 泉中Aチームの戦績は次のとおり
- 1回戦 泉中A 7-2 大東中
 - 2回戦 泉中A 3-1 石中グリーンボーイズ
 - 準々決勝 泉中A 6-1 一中アゲインズ
 - 準決勝 泉中A 9-1 小平クラブ
 - 決勝 泉中A 8-0 西袋中野球部OB



優勝した泉中Aチームの皆さん

泉中A優勝 県下少年野球県南予選

7/20
7/22



ソフトボール準優勝の南須釜チームの皆さん

南須釜 ソフトボール、バレーボールとも準優勝
県民スポーツ石川地区大会は古殿町を会場に開催され、熱戦を展開しました。
南須釜チームがソフトボールとバレーボールでも準優勝し、県中大会への出場を決めました。また、バレーボールの川辺バレー愛好会と、卓球の玉川卓球クラブが三位となりました。

石川大会 県民スポーツ

7/14



バレーボール準優勝の南須釜チームの皆さん

生涯スポーツ 講演会

7/17

講演会は、うつくしま広域スポーツセンタープロジェクトマネージャーの小杉誠氏を講師に、村就業改善センターで開催されました。
誰でもが、生涯を通してスポーツに親しめる新しい仕組みとして注目を集めている「総合型地域スポーツクラブ」について講演され、運営には住民が主役となり、自立した組織への変革の必要性が話されました。

◆総合型地域スポーツクラブの特徴

- メディカルチェックを受け自分の健康状態にあったスポーツプログラムを組んでもらえる。
- 自分の体力や技能レベルに応じていろいろなスポーツにチャレンジできる。
- スポーツを楽しんだ後は、交流の場になる。
- クラブハウスに行けば、どんな活動を行っているか情報を気軽に入手できる。

今年も見事に咲きました 花いっぱい運動



村花いっぱい運動協議会では各団体代表者により、花の管理状況を視察しました。
各所とも追肥や除草等の手入れが行き届き、マリゴールドやサルビアなどの花が咲き誇り、視察した方たちは「今年も見事な花が咲き、村を自慢できるね」などと話していました。



受賞報告に訪れたよさこい踊り隊の皆さん

第1回YOSAKOIソーランジュニア東北大会 いしかわぐんよさこい踊り隊大賞に輝く

天栄村で7月27・28日に開催された第1回YOSAKOIソーランジュニア東北大会で、いしかわぐんよさこい踊り隊(会長 大和田政宏・平田村)が最高賞の大賞を受賞し、村内から参加した小中学生らのメンバー11名が会長らとともに役場を訪れ車田村長に受賞を報告しました。大会には、県内外から25チームが参加しての受賞となり、来年6月に北海道で開催される第12回YOSAKOIソーラン祭りのソーランナイトへの出場権を獲得しました。



三味線を体験

東京玉川会では、村内中学生を対象とした芸術鑑賞事業で津軽三味線コンサートを開催しました。会場となった泉中体育館には生徒をはじめ父兄の方々も訪れ三味線の音色に聞き入っていました。
また、生徒達は先生の指導で三味線を弾いたり、普段とは違う貴重な体験をしました。



相手の部 熱戦のようす

福島県南地区空手道大会

大会は、玉川村民体育館で開催され、県南地区の各道場から大勢の選手が出場しました。
選手達は日頃の訓練の成果を発揮しようと、型の部、組手の部で熱い戦いを繰り広げました。
村関係者の成績は次のとおりです。

型の部	中学生	準優勝	二階堂 春香(玉川道場)
	一般	優勝	矢部 洋士(川辺)
組手の部	小学生中学年	3位	熊田 真衣(川辺小)
	中学生女子	準優勝	二階堂 春香(玉川道場)
	中学生50kg以下	優勝	飯田 裕晃(泉中)
	高校生64kg以下	優勝	小林 誠(竜崎)
	64kg超	優勝	矢部 洋士(川辺)

交通安全を呼びかけ

夏の暑さからくる疲れに注意
村交通対策協議会では、交通安全協会と交通安全母体の会の協力を得て、国道一八号の泉郷駅前で「テント村作戦」を実施し、ドライバーに交通安全冊子とサルナシジュースなどを配布し、交通安全を呼びかけました。





～ 玉川村少年球技大会より～

8月9月の健康ごよみ

- 8月
- 20日(火) ツベルクリン反応検査……………就午後1時00分
 - 21日(水) 3～4ヶ月児検診……………公立午後1時30分～
 - 22日(木) ツベルクリン判定及びBCG接種……………就午後1時00分～
 - 28日(水) 子宮ガン及び骨粗しょう症検査
午前9時00分～……………須公
午後1時00分～……………保

- 9月
- 13日(金) 1歳児相談会……………保午後1時30分～
 - 18日(水) 3～4ヶ月児検診……………公立午後1時30分～

保：保健センター 就：就業改善センター
公立：公立岩瀬病院 須公：須釜公民館

伝言板

第4回福島空港玉川健康マラソン大会 村民参加者大募集

(村内参加者参加費無料)

- 参加者全員に参加賞、完走者には完走証が贈られます。
◆開催日時 平成14年9月29日(日) 雨天決行
◆申込締切 平成14年8月30日(金)

たまかわ健康家族ウォーク

- ◆開催日時 平成14年9月16日(月)
AM10:30スタート(受付AM9:00～)
◆集合場所：玉川村総合運動公園
どなたでも参加できますが、事前の申込が必要です。
◆参加申込等
玉川村役場健康福祉課☎57-4623

第6回高齢者等の財産と福祉をめぐる相談会

1. 実施方法 電話及び面談による相談(無料)
2. 日 時 平成14年9月7日(土)
午前10時～午後4時
平成14年9月8日(日)
午前10時～午後4時
3. 相談電話番号 ☎024-534-0799
4. 面談会場 福島県司法書士会館
福島市新浜町6番28号
5. お問い合わせ電話番号 024-534-7502

第15回全国健康福祉祭ふくしま大会 総合開・閉会式一般入場者募集

- 《開会式》
- 日時 平成14年10月19日(土) 11:25～14:10
 - 場所 県営あづま陸上競技場
 - 募集人数 5,000人
- 《閉会式》
- 日時 平成14年10月22日(火) 13:00～13:55
 - 場所 ビッグパレットふくしま
 - 募集人数 200人
- ※応募方法はお問い合わせください。
●締切日 8月31日(当日消印有効)
●問い合わせ先 大会実行委員会事務局「総合開・閉会式」係
☎024-521-7307

福島県司法書士会「裁判手続相談センター」開設

本センターでは、毎月第1土曜日(午後1時から午後4時)に、「裁判手続無料相談」を実施しております。
事前に下記「予約電話」で予約のうえ、ご相談においで下さい。
無料相談は1回限りで40分以内となります。
相談予約電話番号☎024-533-5539
(問い合わせも上記電話番号へ)

豪雨災害により冠水等の被害を受けた飲料井戸水 水質検査手数料の免除について

- ◆対象井戸 豪雨災害により冠水等の被害を受けた井戸等で、常時飲料水として利用しているもの。この場合、水道普及地域での井戸、業務用井戸は対象外となります。
- ◆検査の内容 簡易項目検査
- ◆検水の量 1升ビンに1本
滅菌ビン1本
- ◆申 込 上記検体に検査依頼書及び保健所使用料等減免申請書を添付し、県中保健福祉事務所に申し込むこと。
- ◆問い合わせ先 県中保健福祉事務所(☎0248-75-7820)

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。
(村社会福祉協議会)

- 川辺の須藤博彦さんから
●川辺の白旗保喜さんから
●竜崎の上野元良さんから
●南須釜の宗形辰一さんから
●北須釜の塩澤勝さんから
●埼玉県の鈴木正賢さんから1万円

村のようす

(14年8月1日現在)

- 1,825戸(-5)
- 7,590人(-6)
- 3,749人(-6)
- 3,841人(±0)

お誕生おめでとうございます

(7月届出分)

地区名	出生児氏名	保護者名
川 辺	三 瓶 陸	信 之
〃	矢 部 きらり	憲 宗
小 高	有 賀 美沙希	悦 夫
〃	溝 井 綾乃	和 正
南須釜	塩 澤 祐人	裕 勝
吉	有 賀 大貴	正
〃	佐 藤 瑠威	熊 寿
四辻新田	関 根 恵実	俊 徳

おくやみ申し上げます

(7月届出分)

地区名	死亡者氏名	世帯主名
川 辺	白 旗 キミ	保 雄
〃	須 藤 キサ	博 彦
岩法寺	佐久間 義雄	マサ良
竜 崎	上 野 忠三	元 良
南須釜	宗 形 清春	辰 一
北須釜	塩 澤 文幸	勝

今月の納税

村 民 税 第 二 期 分
国民健康保険税 第 二 期 分

【納期限は8月26日(月)です。
忘れずに納めましょう！】

花愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

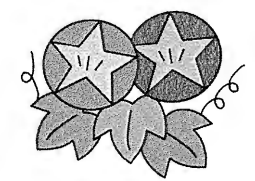
野も山も薫る緑に鳥たちも勢いを得て飛び回りおり
神棚に供えし飯も撤きてやる日毎集まる小鳥らの庭
終日を散る公園の緋ぐくらによぎりては消ゆ君のまぼろし
山畑に拾いつづけし二十年石も小山となりて光れり
テーブルを囲む孫との鼻息に滑る種なりたんばの綿
漸くに片目が開いたと思ふ間に霞う影ありわが五十路坂

吉田直子 小針守次 小針みね子 小針愛子 吉田英祐 川崎雄子

さるなし俳句会七月句会詠草

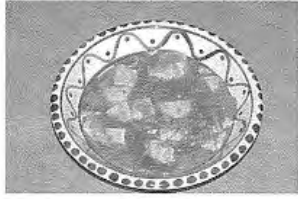
炎昼の静寂怖ずる滑走路
紫陽花や認めたくなき忘れ癖
万緑や一服ふゆる母の葉
菖蒲挿す屋根懐しき古山河
風鈴の音聴かざりし夕べかな
夏夕焼け小川に古き鉄洗う

仁 由記 華 仁美 美枝 春恵



シリーズ

今日の食卓 ⑤①



「夏を快適に過ごす
アレンジ料理を
試してみましょう！」

今月は、玉川村食生活改善推進員よつばの会が開催した中学生対象の「ヘルスサポータ21」事業の中で紹介された一品です。

きのこやピーマンが入り、色どりよく、栄養のバランスのとれるマーボ豆腐ができます。是非暑い夏を元気に乗り切れるよう香辛料やトウバンジャンを加え、試してみてください。

『エスニック風マーボ豆腐』

一 材料(4人分) 一

- 木めん豆腐 1 1/2丁
- 豚赤身ひき肉 160g
- 生しいたけ 4個
- ピーマン 赤・黄・緑 各1個
- ねぎ 40g

[A]

- トマトケチャップ 大さじ4
- 砂糖 大さじ1/2
- しょうゆ 大さじ1 1/3
- 酒・しょうが汁 各小さじ1
- トウバンジャン 好みで
- スープ カップ1
- 片栗粉 大さじ1 1/3

一 作り方 一

- ①豆腐は軽く水を切り、1cm角のサイコロに切る。
- ②生しいたけは石づきをとり1cm角の角切り、ピーマンは種を抜き1cm角の角切り、ねぎはみじん切りにする。
- ③フライパンに油を引き、ひき肉を炒め、②を入れよく炒め、[A]と①を加え、とろみをつける。



田島祇園祭・七行器行列

私のふるさと
— 南会津郡田島町 —

高橋 稔 雄さん(中)



私のふるさと田島町は、福島県の南西部に位置し、栃木県と接しており町の中心部を走る国道二二一号線は会津西街道とも呼ばれています。

春夏秋冬の季節がはっきりしており、それぞれの楽しみ方があります。目にしみるような新緑、色鮮やかな紅葉、そして一面銀の世界です。特に、梅雨明けの七月に行われる田島祇園祭りは、八百余年の歴史を持ち、国の重要無形文化財にも指定されていて有名で

す。「お党屋制」と呼ばれている古式床しい行事を通して郷土の誇り高き伝統を余すところなく受け継いでいます。

メインは二十三日早朝に行われる七行器(ななほかい)行列と二十二・二十三日の深夜までシヤンギリと呼ばれる笛・太鼓の音色に合わせて勇ましく運行する四つの大屋台があります。また屋台上では、地元の子供たちにより歌舞伎が上演されています。一見の価値があります。

広報たまかわ私のふるさとコーナーに登場していない村外の出身者をご存知の方が居りましたら、玉川村総務課まで連絡ください。(☎57-4621)

東京玉川会コーナー



心に残る我がふるさと
「ふるさとの思い出」

東京都西東京市

熊田 藤作さん

(川辺出身 熊田富一さんの叔父)



東京玉川会総会で、テーブル右端が私

ふるさとの思い出の第一は、何といっても「盆踊り」でした。昭和二十年代(一九四五年)は、学校の校庭に櫓があがるが多かったようでした。私はその頃、夏休みに帰省するのが慣例でしたが、この「盆踊り」を小学校時代の級友たちと踊るのが楽しみでした。ですから、その光景は暇の裏に今でも鮮やかに浮かびます。

次に思い出すのは、「友だちと遊んだこと」です。それは、学校でのこと、家に帰ってからこのことの全部です。

一昨年、古希を記念しての川辺地区の同級会がありました。が、誰も彼もの話題のほとんどはそれで、楽しかったこと、悪さをして叱られたことなどで盛り上がり、話の輪に割り込むの

が大変なほどでした。教室の先生の事務机の中に「赤かがし」の蛇の子を入れて、若い女性の先生をびっくりさせたなどという、きわどいものもありました。

第三は、思い出というより「思い」というようなものです。私たち世代の子どもの頃には、ふるさとの地域に空港ができることなど誰が想像したでしょうか。しかし、現実にはできてしまったのです。

まだ心の整理がつかず、戸惑っている心情もあるような気がしますが、願わくば経済的発展への契機になるばかりでなく、人間性向上にもつながる要因にもなって欲しいと念じます。

最後に、玉川村の皆さん、東京玉川会の皆さんのご健康とご多幸をお祈りします。